

# 読み聞かせ・ブックトークについて調べる

《読支-3》

栃木県立図書館  
パスファインダー  
(調べ方案内)

(2016.9)

<本文中の記号について>  
【 】：請求記号  
< >：資料のある場所

子どもたちに本を届ける方法に、「読み聞かせ」や「ブックトーク」などがあります。それぞれの実践の手順や、おすすめの本などを調べるための資料をご紹介します。

## 目次

1. 「読み聞かせ」「ブックトーク」とは？
2. 図書を使って調べる
3. 雑誌を使って調べる
4. インターネットで調べる
5. 関連機関

## 1. 「読み聞かせ」「ブックトーク」とは？

【読み聞かせ】 ※『小学校での読み聞かせガイドブック』より

絵本を子どもたちに見せながら、内容を声に出して読み聞かせる手法。子どもたちにより絵本を出会わせることを目的とする。年齢にあわせて、絵の多いものから文字の多いものへ移行し、高学年には絵がない「朗読」も有効。

【ブックトーク】 ※『キラキラ応援ブックトーク』より

一つのテーマに沿って、あるいは何らかの関連性を持たせて、数冊の本を順序よく紹介する手法。子どもたちに「自分で読んでみたい」と思わせることが目的で、読み聞かせからひとり読みへ移行する小学校中学年以上に有効。ブックトークは、短い時間でテンポよく本を紹介するため、シナリオを作成して臨むのが一般的。

## 2. 図書を使って調べる

### ○分類記号(背ラベル)

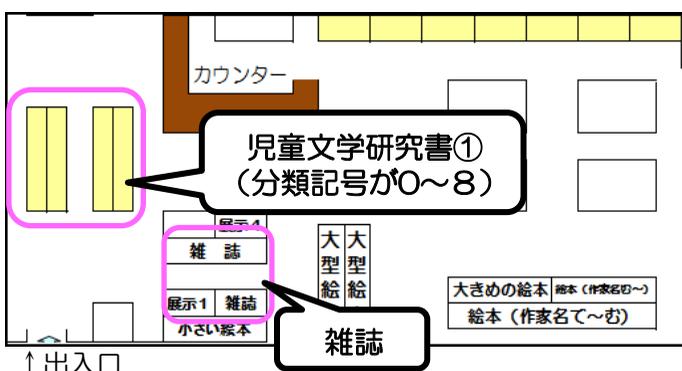
読み聞かせ・ブックトークに関する図書は、B1階 読書活動支援室「児童文学研究書」(資料検索時の「所蔵場所」は「児研」)の書架にあります。

なお、図書館の本は「日本十進分類法(NDC)」で分類された数字の順に並んでいます。

《関連分野の分類記号》 背ラベルの1段目の数字です。

017	学校図書館
017.2	小学校、学級文庫
019	読書・読書法
019.2	読書指導
019.5	児童・青少年と読書
375	学習指導
375.8	国語教育

【資料がある場所】(B1階 読書活動支援室)



## 3. 雑誌を使って調べる

読み聞かせやブックトークをメインで扱う雑誌や、特集・事例紹介で取り上げられることが多い雑誌をご紹介します。※雑誌は、所蔵場所「逐支」にあります。

コーナーにないバックナンバーは、職員にお尋ねください。

・「この本読んで！」(出版文化産業振興財団 季刊)

「絵本と読み聞かせの情報誌」として創刊された、読み聞かせのコツやおすすめの本を紹介する雑誌。絵本作家やおはなし会など、毎月組まれる特集が魅力の一つ。

・「こどもとしょかん」(東京子ども図書館 季刊)

家庭文庫を母体とする私立の「東京子ども図書館」の機関誌。子どもの本やお話などの評論や、講習・研修の内容等を掲載している。また、書評や新刊案内も充実。

・「子どもと読書」(親子読書地域文庫全国連絡会 隔月刊)

家庭文庫・地域文庫の全国組織である「親子読書地域文庫全国連絡会」(通称・おやちれん)が発行する機関誌。絵本作家や子どもの読書に関する時事的な話題などを特集として扱っており、読み聞かせをテーマに扱った巻号もある。

・「学校図書館」(全国学校図書館協議会 月刊)

全国の学校図書館研究団体等で組織する「全国学校図書館協議会」の機関誌。学校図書館に関する専門誌で、時事的な話題や実践事例の紹介、調査報告などを掲載している。

・「母の友」(福音館書店 月刊)

毎月、2本の特集を組んでおり、一つは子育てに関するトピックスを、もう一つは絵本関連の内容を扱う。絵本作家や図書館員、保育士など、絵本に関わる人たちの寄稿により、様々な角度から絵本の魅力に迫る。

## ○読み聞かせ・ブックトークに関する本 ※注記のない資料は貸出可

絵本には、長く読み継がれる名作や、読み聞かせ・ブックトークなどにおすすめの作品があり、こうした作品をリスト化した資料が多数出版されています。時代を超えて読み継がれる作品を生み出した作家は、こうした資料から調査可能な場合があります。

・『**親地連がすすめる読みきかせ絵本250 高学年向2004～2014**』(親子読書地域文庫全国連絡会／編 絵本塾出版 2015)【019.5/237】

・『**おやちれんがすすめるよみきかせ絵本250 低学年向2003～2012**』(同上 2013)【019.5/215/003】  
テーマ別に読み聞かせにおすすめの絵本を紹介。表紙やあらすじ、作品の特徴などがまとめられている。

・『**小学校での読み聞かせガイドブック 朝の15分のために**』(湯沢朱美ほか／編著 プランニング遊 2014)【019.5/233】  
「基本編」は、絵本の持ち方や読み方等を、図入りで解説。「実践編」は、学年別におすすめの絵本を紹介している。

・『**読み聞かせABC 集団の子供たちへの読み聞かせに**』(東京都立多摩図書館／編・発行 2012)【028.09/44】  
集団の読み聞かせにおすすめの絵本200冊を紹介。表紙やあらすじ、所要時間、作品の特徴などがまとめられている。

・『**その本、読みたい！ 読みきかせ+ぶちブックトーク 低学年**』

・『**その本、読みたい！ 読みきかせ+ぶちブックトーク 高学年**』(村上淳子／編著 国土社 2013)【019.2/81/1・2】  
一つテーマを決めて、1冊の絵本の読み聞かせを行い、その後+aとして3冊のブックトークを行うという方法で、短時間にブックトークを実践できるようにした「ぶちブックトーク」の手法を紹介。

・『**キラキラ応援ブックトーク**』(キラキラ読書クラブ／著 岩崎書店 2009)【019.5/152】  
ブックトークの基本から、集団/個人向けブックトークのシナリオを計33点も収録した、そのまま実践に活用できる一冊。

・『**だれでもできるブックトーク 「読みきかせ」から「ひとり読み」へ**』(村上淳子／編著 国土社 2008)【017/152】  
小学生の学年別ブックトーク実践例を約30点収録。テーマ・要した時間・シナリオ・児童の反応などがまとめられており、より具体的に実践をイメージできる。「中学・高校生編」の第2巻あり。

・『**ひと目でわかるブックトーク 小・中・高校生向け実践例64本収録**』(「この本読んで！」編集部／編 読書サポート 2012)【019.2/78】  
ブックトークの選書やシナリオ作り等のポイントを解説。キーワード(テーマ)から紹介する方法や1冊の本を中心に紹介する方法など、具体例を挙げて紹介する。台本も多数収録。なお、本書のシリーズに、お話会の手法をまとめた『おはなし会プログラム 季節別・年齢別、厳選プログラム116本収録』(2008)がある。

### 3. インターネットで調べる

インターネット上で確認できる検索ツールやデータベースをご紹介します。

・**絵本ナビ** (株式会社 絵本ナビ)  
<http://www.ehonnabi.net/>  
「定番読み聞かせ絵本」「読み聞かせおすすめ絵本」等のテーマ別に絵本を調べることができる。資料詳細画面では、試し読みが可能なものもある。

・**学校図書館担当者のための情報館**  
(公益社団法人 学校図書館協議会)  
[http://www.j-sla.or.jp/new\\_shishokuyoyu/index.html](http://www.j-sla.or.jp/new_shishokuyoyu/index.html)  
初めて学校図書館で働く人向けの「学校図書館の基礎知識」のページや、選書・運営に役立つ情報を一覧できる。また、読み聞かせにおすすめの絵本を隔年で選定し、「よい絵本」として公表しており、リストを閲覧できる。

### 4. 関係機関

・**公益財団法人 東京子ども図書館**  
東京都中野区江原町1-19-10  
TEL: 03-3565-7711  
FAX: 03-3565-7712  
HP: <http://www.tcl.or.jp/>  
文書・電話・FAXによる調査相談、読書相談、お話会や文庫運営の相談を受け付けている。

・**一般財団法人 出版文化産業振興財団**  
東京都千代田区神田神保町3-12-3 神保町スリービル8F  
TEL: 03-5211-7282  
FAX: 03-5211-7285  
HP: <http://www.jplic.or.jp/>  
読み聞かせ・ブックトークの講習会や講座などを開催している。

○●読書活動支援室●○ (地下1階)  
読書ボランティアや学校教職員等、子どもの読書活動関係者を支援するための部屋です。児童文学の研究書や、参考図書等を排架しています。  
また、子どもの読書や児童文学に関する調査相談に応じています。

開室時間: 午前9時～午後5時  
(平日は午後1時半から職員常駐)



栃木県立図書館 調査相談課  
レファレンスサービス担当

火-金 9:00-19:00 土日祝 9:00-17:00  
〒320-0027 栃木県宇都宮市埜田1-3-23  
URL: <http://www.lib.pref.tochigi.lg.jp>  
TEL: 028-622-5112 FAX: 028-624-7855  
E-Mail: [chousaka@lib.pref.tochigi.lg.jp](mailto:chousaka@lib.pref.tochigi.lg.jp)